

週間漁海況情報 2026年第4号

令和8年1月27日発行

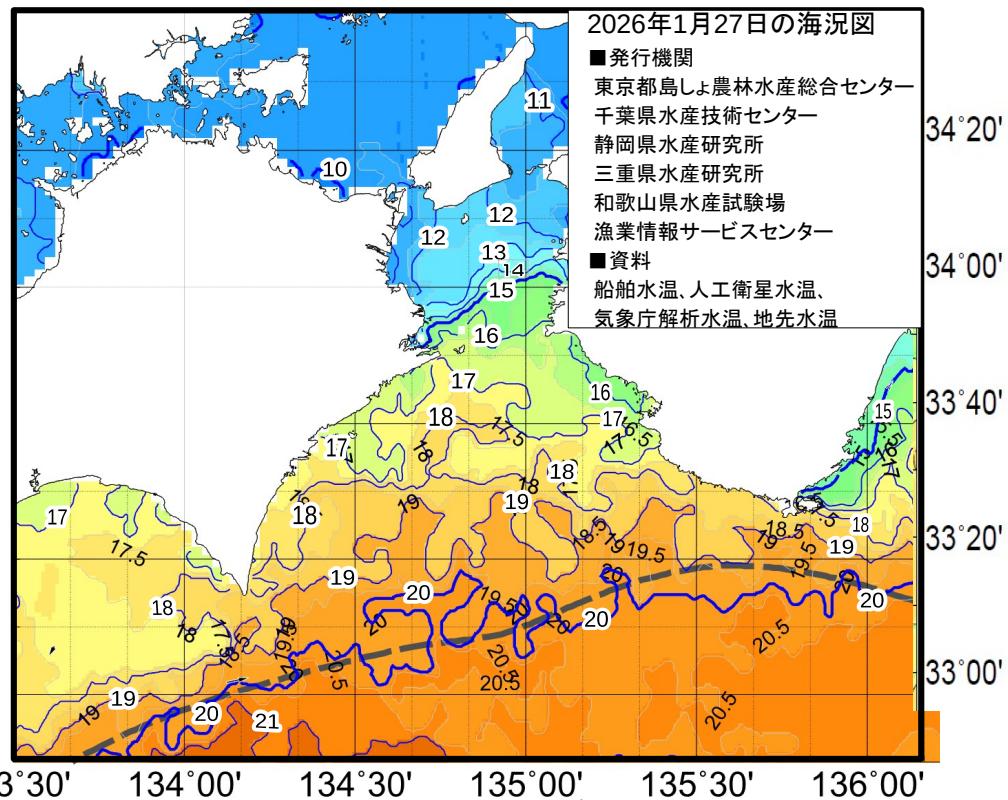
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は19~21°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で9~10、紀伊水道で11~16、海部沿岸で16~18°C台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

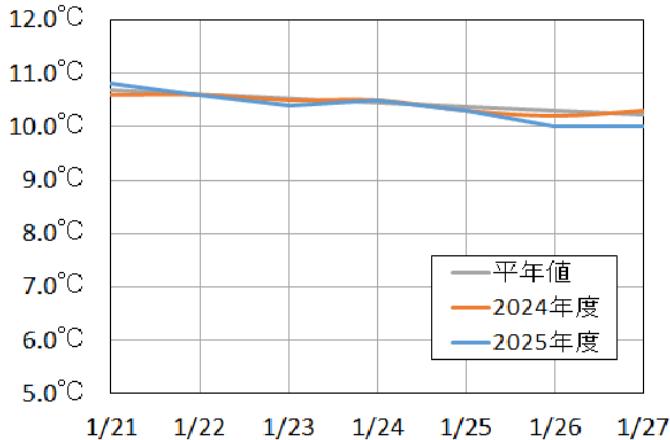
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

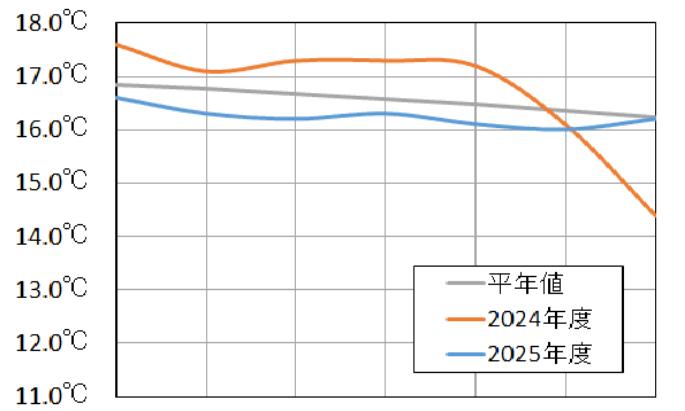
2. 地先水温(1月21日~1月27日)

鳴門地区の水温は、10.8~10.0°Cで「平年並み」で推移。浅川地区は、16.6~16.0°Cで「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、5.7~6.2°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低

半年並み: 半年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 半年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 年度値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月28日~2月3日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (1月19日～1月25日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが減って7トン水揚げされた。

延縄では、あまだい類が減って0.7トン、サワラが大きく減って大主体に0.5トン、ブリがめじろ級主体に0.4トン水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが増えて2.9トン、サワラが増えて0.4トン水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.4トン、メジナが0.3トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが減って豆あじ級主体に2.6トン、

カワハギが減って大主体に0.4トン、ヒラメが大主体に0.4トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

小型定置網では、アオリイカが減って小小主体に0.5トン水揚げされた。

大型定置網では、ウルメイワシが大きく増えて大主体に1.1トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)		銘柄	前週比※
						1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	13	シラス	7,020	540			↓
		55	あまだい類	719	13			↓
		20	サワラ	475	24	大主体		↓↓
		23	ブリ	356	15	めじろ級主体		→
	底びき網	20	シリヤケイカ	2,920	146			↗
		17	サワラ	427	25			↗
	建網	38	カワハギ	410	11	大主体		→
		30	メジナ	344	11			→
	小型定置網	21	マアジ	2,646	126	豆あじ級主体		↓
		22	カワハギ	394	18	大主体		↓
		20	ヒラメ	362	18	大主体		→
海部沿岸	小型定置網	38	アオリイカ	535	14	小小主体		↓
	大型定置網	6	ウルメイワシ	1,067	178	大主体		↗↗

※ 前週比 200%以上: ↗↗ 120-200%: ↗ 80-120%: → 50-80%: ↓ 50%未満: ↓↓